

平成29年における労働災害発生状況

確定値

北海道労働局労働基準部安全課

業種別労働災害発生状況 その1

平成29年1月1日～平成29年12月31日

北海道労働局

業種別	平成29年			平成28年			対前年		業種割合 (%)	平成28年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	81	6,595	6,676	77	6,537	6,614	62	0.9	100.0	77	6,537	6,614
製造業	8	1,194	1,202	7	1,220	1,227	-25	-2.0	18.0	7	1,220	1,227
食料品	1	596	597	1	638	639	-42	-6.6	8.9	1	638	639
木材・家具		115	115		107	107	8	7.5	1.7		107	107
紙・印刷		24	24	2	27	29	-5	-17.2	0.4	2	27	29
窯業・土石		59	59		46	46	13	28.3	0.9		46	46
金属・機械	4	200	204	2	213	215	-11	-5.1	3.1	2	213	215
その他	3	200	203	2	189	191	12	6.3	3.0	2	189	191
鉱業												
鉱山		1	1		1	1			0.0		1	1
土石採取業	2	19	21	1	13	14	7	50.0	0.3	1	13	14
建設業	23	856	879	30	881	911	-32	-3.5	13.2	30	881	911
土木工事業	13	289	302	12	258	270	32	11.9	4.5	12	258	270
建築工事業	4	322	326	11	348	359	-33	-9.2	4.9	11	348	359
木造建築業	2	135	137	2	141	143	-6	-4.2	2.1	2	141	143
その他	4	110	114	5	134	139	-25	-18.0	1.7	5	134	139
交通運輸事業	2	271	273	1	263	264	9	3.4	4.1	1	263	264
陸上貨物運送事業	10	826	836	13	765	778	58	7.5	12.5	13	765	778
道路貨物運送	10	767	777	13	719	732	45	6.1	11.6	13	719	732
陸上貨物取扱		59	59		46	46	13	28.3	0.9		46	46
港湾運送業		8	8		9	9	-1	-11.1	0.1		9	9
林業	5	94	99	5	120	125	-26	-20.8	1.5	5	120	125
水産業	5	142	147	2	174	176	-29	-16.5	2.2	2	174	176
商業	9	968	977	4	956	960	17	1.8	14.6	4	956	960
清掃・と畜業	2	327	329		352	352	-23	-6.5	4.9		352	352
上記以外の事業	15	1,889	1,904	14	1,783	1,797	107	6.0	28.5	14	1,783	1,797

死亡災害については死亡災害速報、休業災害については労働者死傷病報告書(休業4日以上)による
同期間中に把握した件数の前年同期の対比である。

業種別労働災害発生状況 その2

平成29年1月1日～平成29年12月31日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	平成29年			平成28年			対前年		業種割合 (%)	平成28年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	2	120	122	2	99	101	21	20.8	1.8	2	99	101
畜産業	3	235	238	3	249	252	-14	-5.6	3.6	3	249	252
金融・広告業		60	60	1	59	60			0.9	1	59	60
映画・演劇業		1	1		1	1			0.0		1	1
通信業		159	159		136	136	23	16.9	2.4		136	136
教育・研究業		66	66	1	53	54	12	22.2	1.0	1	53	54
保健衛生業	3	594	597	2	564	566	31	5.5	8.9	2	564	566
接客娯楽業	1	392	393	1	345	346	47	13.6	5.9	1	345	346
その他の事業	6	262	268	4	277	281	-13	-4.6	4.0	4	277	281
合計	15	1,889	1,904	14	1,783	1,797	107	6.0	28.5	14	1,783	1,797

「第三次産業」の内訳

業種別	平成29年			平成28年			対前年		業種割合 (%)	平成28年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	9	968	977	4	956	960	17	1.8	14.6	4	956	960
うち 小売業	4	765	769	3	783	786	-17	-2.2	11.5	3	783	786
金融・広告業		60	60	1	59	60			0.9	1	59	60
映画・演劇業		1	1		1	1			0.0		1	1
通信業		159	159		136	136	23	16.9	2.4		136	136
教育・研究業		66	66	1	53	54	12	22.2	1.0	1	53	54
保健・衛生業	3	594	597	2	564	566	31	5.5	8.9	2	564	566
うち 社会福祉施設	3	422	425	2	394	396	29	7.3	6.4	2	394	396
うち 医療保健業		158	158		150	150	8	5.3	2.4		150	150
接客・娯楽業	1	392	393	1	345	346	47	13.6	5.9	1	345	346
うち 飲食店	1	176	177		139	139	38	27.3	2.7		139	139
うち 旅館業		99	99		85	85	14	16.5	1.5		85	85
うち ゴルフ場		52	52	1	58	59	-7	-11.9	0.8	1	58	59
清掃・と畜業	2	327	329		352	352	-23	-6.5	4.9		352	352
その他の事業	6	262	268	4	277	281	-13	-4.6	4.0	4	277	281
うち 警備業	1	60	61	1	77	78	-17	-21.8	0.9	1	77	78
合計	21	2,829	2,850	13	2,743	2,756	94	3.4	42.7	13	2,743	2,756

平成29年における死亡災害発生状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

北海道労働局

業種	平成29年		平成28年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	81 (12)	100.0	77 (21)	100.0	4	5.2	13	23.2
製造業	8 (1)	9.9	7 (0)	9.1	1	14.3	0	0.0
鉱業	2 (0)	2.5	1 (0)	1.3	1	100.0	1	100.0
建設業	23 (6)	28.4	30 (8)	39.0	-7	-23.3	-5	-22.7
交通運輸事業	2 (0)	2.5	1 (0)	1.3	1	100.0	1	100.0
陸上貨物運送事業	10 (2)	12.3	13 (11)	16.9	-3	-23.1	6	300.0
港湾運送業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	-	0	-
林業	5 (0)	6.2	5 (0)	6.5	0	0.0	0	0.0
その他の事業	31 (3)	38.3	20 (2)	26.0	11	55.0	10	55.6

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

平成29年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

平成29年1月1日～平成29年12月31日

北海道労働局

業種	平成29年		平成28年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	31 (3)	100.0	20 (2)	100.0	11	55.0	10	55.6
小売業	4 (1)	12.9	3 (1)	15.0	1	33.3	1	50.0
医療保健業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	-	0	-
社会福祉施設	3 (1)	9.7	2 (0)	10.0	1	50.0	0	0.0
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	1 (0)	3.2	0 (0)	0.0	1	-	1	-
ビルメンテナンス業	1 (0)	3.2	0 (0)	0.0	1	-	1	-
ゴルフ場の事業	0 (0)	0.0	1 (0)	5.0	-1	-100.0	-1	-100.0
警備業	1 (0)	3.2	1 (0)	5.0	0	0.0	0	0.0
農業・畜産業	5 (0)	16.1	5 (0)	25.0	0	0.0	0	0.0
水産業	5 (0)	16.1	2 (0)	10.0	3	150.0	3	150.0
その他	11 (1)	35.5	6 (1)	30.0	5	83.3	5	100.0

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

平成29年 死亡災害発生状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号		4号		5号		6-2号		7-2号		その他 の事業	合計																	
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業																						
年別																																	
平成19年	8		1		26	14	3	5		5	4	24	90																				
平成20年	9	3		1	28	12	2	1		8	1	19	81																				
平成21年	3	1			30	6	1	1	1	1	5	21	69																				
平成22年	5				22	15	1	3	1	11	9	27	94																				
平成23年	4	1		3	10	14	1		1	5	6	21	65																				
平成24年	8				27	10	1		1	4	4	28	83																				
平成25年	6			1	22	7	2		1	4	4	17	64																				
平成26年	4			1	22	6	2			4	6	20	65																				
平成27年	7			2	25	10	3	1	1	4		12	65																				
区分 月別	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計									
平成 28 年	1月	1	1						2	2														3	3								
	2月		1						3	5	1	1											2	2	6	9							
	3月	1	2						5	7	1	2											2	2	4	13							
	4月	1	3						2	7		2											2	2	1	1	2	4	6	19			
	5月	1	4						1	8	2	4											1	3	1	1	2	6	7	26			
	6月		4					1	1	2	10	4												3		1		6	3	29			
	7月	1	5					1	1	11		4												3		1	2	8	4	33			
	8月		5					1	2	13		4												3		1	2	4	12	7	40		
	9月		5					1	5	18	1	5												3		2	2	2	14	8	48		
	10月		5					1	3	21	4	9												3		2		14	7	55			
	11月	2	7					1	5	26	1	10												1	4		2	3	17	12	67		
	12月		7					1	4	30	3	13	1	1										1	5		2	3	17	12	67		
平成 29 年	1月	2	2						1	1	2	2															2	2	7	7			
	2月	3	5						2	3		2															2	4	7	14			
	3月		5							3	1	3														1	1	3	7	5	19		
	4月	2	7					1	1	3	6	1	4													1	2	1	8	9	28		
	5月		7					1	1	7	1	5															2	4	12	6	34		
	6月		7					1	2	9		5															1	3	5	17	8	42	
	7月		7					1	4	13		5															3	2	19	6	48		
	8月		7					1	1	14		5															1	4	1	20	3	51	
	9月	1	8					1	4	18	1	6															1	4	1	1	20	7	58
	10月		8					1	1	19	4	10															1	5	1	1	21	7	65
	11月		8					1	2	3	22		10	1	1													5	2	3	21	7	72
	12月		8					2	1	23		10	1	2														5	2	5	5	26	9
対前 年比	件数	±0	1	±0	±0	±0	±0	±0	1	-3	-7	-3	-3	±0	1	±0	±0	±0	±0	-1	±0	2	3	4	8	-1	4						
	百分率	±0	14.3	±0	±0	±0	±0	±0	100.0	-75.0	-23.3	-100.0	-23.1	±0	100.0	±0	±0	±0	±0	-100.0	±0	-	150.0	400.0	44.4	-10.0	5.2						

平成29年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号										起因物番号																													
	1	2	3	4	5	6-2	7-2	その他	計	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99					
事故の型	製業	鉱山業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その他	起	原	動	木	建	金	一	車	動	動	乗	圧	化	溶	炉	電	入	用	39	41	51	52	61	71	91	92	99		
	造業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	因	機	機	材	設	属	般	両	カ	力		力	学	接	・	気	機	力	用	そ	仮	危	材	荷	自	そ	起	分	
1 墜落、転落	1		1	6	2						7	17				2												4												
2 転倒											1	1																												
3 激突																																								
4 飛来、落下				1						1	1	3																												
5 崩壊、倒壊			1	4					1			6					1																						3	
6 激突され	1			1	1				4		1	8			1						1																	6		
7 はさまれ、巻き込まれ	3			3	1	1					7	15				6		5																						
8 切れ、こすれ																																								
9 踏抜き																																								
10 おぼれ				1		1					1	2	5										2							1		2								
11 高温、低温の物との接触																																								
12 有害物等との接触	1											1																											1	
13 感電																																								
14 爆発	1											1														1														
15 破裂																																								
16 火災																																								
17 交通事故(道路)	1			6	2						3	12																												
18 交通事故(その他)											2	2																												
19 動作の反動・無理な動作																																								
90 その他				1	4						1	4	10					1																					9	
99 分類不能																																								
合計	8		2	23	10	2			5	5	26	81			9		7		1	12	12					1		6		13	1		1	9		9				

平成29年 署別・業種別死亡災害発生状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央	1				3	1						4	9
札幌東	2				1	1						1	5
函館					1					1	1	2	5
小樽												2	2
岩見沢						1							1
旭川	2				5	1						5	13
帯広	1			1	4	2				1		2	11
滝川												1	1
北見	1				2						1		4
室蘭	1				2	1				2			6
釧路					1	1					3	2	7
名寄					1					1		1	3
留萌													
稚内							1					1	2
浦河													
苫小牧				1	3	2						3	9
倶知安							1					2	3
計	8			2	23	10	2			5	5	26	81

平成29年 署別・業種別死傷災害発生状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業				交 通 運 輸 事 業	陸上貨物運送事業			港 湾 運 送 業	林 業	水 産 業	商 業		社 会 福 祉 施 設	飲 食 店	清 掃 ・ と 蓄 業	左 記 以 外 の 事 業	対 前 年 比 増 減 率			
		計	食 料 品 製 造 業	木 材 ・ 家 具	紙 ・ 印 刷	窯 業 土 石 製 品	金 属 ・ 機 械	そ の 他 製 造 業	鉱 山	土 石 採 取 業	計	土 木 工 事 業	建 築 工 事 業	木 造 建 築 業		そ の 他 建 設 業	計	道 路 貨 物 運 送 業				陸 上 貨 物 取 扱 業	小 売 業						そ の 他 商 業		
札幌中央	1,136	126	55	5	3	1	34	28		3	124	26	66	10	22	73	122	114	8				240	200	40	92	45	94	217	-4.8%	
	1,082	105	40	4	7	2	29	23		1	123	21	52	15	35	75	114	98	16				189	146	43	70	60	105	240		
札幌東	1,291	215	113	7	8	4	48	35			158	32	80	16	30	87	221	198	23		3		244	191	53	70	34	66	193	5.0%	
	1,355	212	114	4	2	6	44	42		1	173	48	86	21	18	82	270	247	23		3		256	211	45	96	25	51	186		
函館	470	122	76	8	1	1	26	10		1	68	21	25	11	11	23	32	31	1		11	21	60	51	9	27	5	29	71	6.6%	
	501	109	72	10	1	2	14	10		2	58	17	16	19	6	17	53	46	7	1	13	27	60	47	13	34	10	24	93		
小樽	203	69	44	6	1	2	6	10			19	13	5	1		8	19	17	2		1	3	28	26	2	15	2	10	29	8.9%	
	221	62	34	3	1		10	14		2	25	8	10	4	3	7	17	16	1	2	1		31	27	4	23	5	12	34		
岩見沢	196	40	17	2			5	6	10	1						3	27	27					22	19	3	11	2	12	45	-10.7%	
	175	39	12	4			6	9	8							5	19	19					25	22	3	8	2	10	33		
旭川	500	96	35	19	1	7	16	18			66	15	21	12	18	19	71	66	5		10		78	62	16	28	10	30	92	-0.4%	
	498	96	46	20			5	9	16		63	28	20	10	5	17	64	60	4		8		69	54	15	42	16	26	97		
帯広	497	98	64	10		3	14	7		2	70	15	29	16	10	8	57	57			29	5	58	49	9	24	4	18	124	-4.0%	
	477	88	62	4	1	5	8	8		2	66	29	22	8	7	7	60	60			19	3	58	44	14	23	10	13	128		
滝川	156	25	5	3	5	3	3	6		1	41	21	8	9	3	3	13	12	1		3	1	20	17	3	13	2	5	29	8.3%	
	169	39	12	4	3	2	10	8	1		29	16	8	3	2	2	13	11	2		2		25	22	3	18	3	10	27		
北見	378	81	50	16			3	6	6		66	25	24	13	4	4	28	28			26	22	48	35	13	19	5	12	66	-8.5%	
	346	76	38	15	1	4	8	10		1	57	26	15	11	5	7	36	35	1		8	24	49	35	14	21	4	10	53		
室蘭	200	28	10	1		2	9	6			35	12	15	4	4	2	16	16			1	1	33	26	7	20	3	12	49	15.0%	
	230	42	12	1	1	3	15	10			33	11	19	3		6	23	23		1	3	2	37	29	8	17	7	14	45		
釧路	513	130	80	8	1	2	19	20		1	79	21	34	16	8	10	57	54	3		4	10	72	38	34	4	24	6	21	61	-6.2%
	481	109	63	11		2	18	15		5	65	19	32	8	6	12	54	53	1	1	6	55	58	46	12	20	12	18	66		
名寄	133	35	17	8	1	4	2	3		2	29	10	9	9	1	3	9	9			5	3	8	8		3	2	3	31	18.0%	
	157	45	20	12		5	1	7		1	34	17	10	4	3	3	5	5			8	9	10	7	3	4	1	4	33		
留萌	55	11	10					1		1	10	3		4	3		3	3			1	20	1	1		4		2	2	-10.9%	
	49	5	5								11	8	1	1	1	2	6	6			1	5	7	6	1	3		3	6		
稚内	104	21	18	1				2			21	7	7	4	3	2	4	4				7	14	8	6	2	6	1	6	14	8.7%
	113	29	19	3		1	3	3			19	8	6	4	1	4	11	11			5	13	11	9	2	6	1	1	13		
浦河	184	11	6	1				4			15	8	4	2	1	2	7	7			5	10	4	3	1	10	1		119	-8.7%	
	168	12	7	2		1	1	1		1	12	3	3	4	2	1	11	11			3	5	12	11	1	3	1	4	103		
苫小牧	494	106	30	11	8	9	25	23			54	23	15	4	12	13	84	81	3	5	5	3	64	54	10	24	13	28	95	7.1%	
	529	118	32	16	6	13	24	27		4	61	21	14	13	13	24	75	71	4	3	5	1	66	46	20	27	16	22	107		
倶知安	104	13	9	1			1	2		2	25	4	8	7	6	4	8	8			6	1	6	4	2	6	4	4	25	20.2%	
	125	16	9	2	1	2	1	1		1	21	9	6	3	3	2	5	5			9	3	14	7	7	10	4	2	38		
合計	6,614	1,227	639	107	29	46	215	191	1	14	911	270	359	143	139	264	778	732	46	9	125	176	960	786	174	396	139	352	1,262	0.9%	
	6,676	1,202	597	115	24	59	204	203	1	21	879	302	326	137	114	273	836	777	59	8	99	147	977	769	208	425	177	329	1,302		
対前年 増減率	0.9%	-2.0%	-6.6%	7.5%	-17.2%	28.3%	-5.1%	6.3%			50.0%	-3.5%	11.9%	-9.2%	-4.2%	-18.0%	3.4%	7.5%	6.1%	28.3%	-11.1%	-20.8%	-16.5%	1.8%	-2.2%	19.5%	7.3%	27.3%	-6.5%	3.2%	

(注)本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

平成29年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

平成29年1月1日～平成29年12月31日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号		業種									起因物番号	起因物																											
	業種	業種	1 製造業	2 鉱業	3 土石採取業	4 建設業	5 道路貨物運送業	6 陸上貨物取扱業	6-2 港湾運送業	7-2 林業	7-2 水産業		その他	11 原動機	12 動力機	13 木材加工機	14 建設用機械	15 金属加工用機械	16 一般動力機	17 車両系木材伐出機械等	21 動力クレーン等	22 動力運搬機	23 乗物	31 圧力容器	32 化学装置	33 溶接装置	34 炉・窯等	35 電気設備	36 人力機械工具等	37 用具	39 その他の装置設備	41 仮設物・建築物・構築物等	51 危険物・有害物等	52 材料	61 荷	71 自然環境等	91 その他の起因物	92 起因物なし	99 分類不能	
1	墜落・転落		130		6	244	230	14	9	1	6	9	391	1040				20	1	13	1	13	257	17					1	264	31	339		7	19	54	2	1		
2	転倒		290		3	153	164	106	10	3	13	23	1,160	1925				5	1	3		2	32	36				41	76	31	760		34	31	843	9	21			
3	激突		58	1		52	45	14	6		3	6	150	335				8	1	8	1	3	42	23	1			21	29	25	116		15	16	18	5	3			
4	飛来・落下		68		1	78	43	2	3		24	13	66	298		1	7	4	5	14	3	6	18	2	1		1	16	49	11	10		80	38	30	2				
5	崩壊・倒壊		20		3	24	19		5		4		36	111			1	1	1	4		1	5	4				17	11	4	7		22	19	10	3	1			
6	激突され		48		1	34	35	7	2	1	25	12	168	333			6	15		6	4	12	37	16				35	21	8	7		15	8	131	5	6	1		
7	はさまれ・巻き込まれ		299		5	92	74	18	11	1	2	49	251	802	1	14	19	38	33	193		29	158	34	2		1	1	80	35	25	30		38	26	37	4	4		
8	切れ・こすれ		125			81	7		2		17	3	191	426	1		83		25	90			5	1				127	23	26	4		29	6	5	1				
9	踏抜き		2			1	2	1			1		1	8																	3		3		1	1				
10	おぼれ					1		1				2	2	6														1		2					1					
11	高温・低温の物との接触		37		1	11	3	2			1		74	129				1		9		2	1	2		2	3	2	25	27	3	7	6	1	27	11				
12	有害物等との接触		13			3		1					7	24	1					1											21						1			
13	感電		1										2	3									1								1						1			
14	爆発		4			1						1	1	7												1	2			1		2		1						
15	破裂		1										1	2									1										1							
16	火災					1								1																	1									
17	交通事故(道路)		12		1	42	56	66	1		1		150	329				1				1	71	254				2												
18	交通事故(その他)							1				2	2	5				1						2	2															
19	動作の反動・無理な動作		88			57	92	35	10	2	2	23	524	833				3	2	3		4	19	9				27	35	22	149		21	148	96	21	274			
90	その他		5			4	7	5				4	31	56						1												3		9	16	27				
99	分類不能		1										2	3																									3	
合計			1202	1	21	879	777	273	59	8	99	147	3210	6676	3	15	116	97	69	345	9	71	648	402	7		4	5	2	369	569	212	1430	31	274	313	1262	82	337	4

平成29年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	1	18時台	その他の製造業	30人以上49人	巻き込まれ、	一般動力機械 169	被災者は、工場内において点検整備後のトラックの検査作業中、トラックをブレーキテスターに載せ制動力を確認したところ、左前輪ブレーキに不具合があったため、当該テスターを稼働させたまま、トラックの左前方より車体下部に潜り込んだところ、トラック左前輪とテスターの前側ローラーとの間に巻き込まれたもの。
29	1	13時台	その他の製造業	10人未満	墜落、転落	仮設物、建築物等 415	被災者は、ユニットハウス製造現場において、意識不明の状態で見つかった。はしごによりユニットハウス屋根上(高さ2.6m)に上り、墜落したものと推定される。
29	2	9時台	鉄鋼業	10人以上29人	有害物等との接触	危険物、有害物等 514	被災者は、製鋼製造工程で発生するダストの無害化処理の作業中、フォークリフトでダストを処理場所に運搬してミキサーにセットした後、一緒に作業する同僚を呼びに行く予定であったが、呼びに来なかったため、不審に思った同僚が処理場所に行ってみたところ、何らかの薬液が入ったペール缶にもたれ掛かり意識を失っていた被災者を発見したもの。
29	2	18時台	金属製品製造業	50人以上99人	激突され	動力クレーン等 211	被災者は、資材置き場において天井クレーンを使用してトレーラーの荷台からH型鋼材(長さ約9m、重さ約2.7トン)を架台の上に設置した際、H型鋼材が倒れ隣のH型鋼材との間に挟まれたもの。
29	2	11時台	食品製造業	10人以上29人	交通事故(道路)	乗物 231	被災者は、配達先から事業場に戻るためワゴン車を運転していたところ、ワゴン車がスリップして対向車線に侵入し、対向車線を走っていたダンプカーに衝突した。事故当時、道路上は圧雪アイスバーン状態であった。なお、ダンプトラックの運転手は手を怪我した。
29	4	8時台	電気・ガス・水道業	10人未満	巻き込まれ、	動力運搬機 221	被災者は、燃料用木材チップを積んだトラックを工場内の貯蔵庫へ誘導中、トラックの右後輪に轢かれ被災したもの。
29	4	8時台	鉄鋼業	10人以上29人	爆発	炉窯等 341	鋳物用の溶銑を作るため、溶解炉を稼働させたところ、溶銑が予定どおり流れ出なかったため、稼働を停止させた。 炉の底部蓋を開けて炉内の溶銑を下部に放出させたところ、水蒸気爆発が発生したため、全身やけどにより死亡したもの。

平成29年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	9	13時台	機械器具製造業	10人以上29人	巻き込まれ、はさまれ	一般動力機械 169	一人で収穫機械の修理をしていた被災者が、同機械のベルトに挟まれているところを発見された。

平成29年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	1	20時台	土木工事業	50人以上 99人	崩壊、倒壊	環7 境1 等1	被災者は、トンネル工事現場の切羽において、発破作業のためドリルジャンボにより穿孔作業後に火薬の装薬作業のため、ドリルジャンボのマンゲージに上がり装薬箇所へ移動中、鏡面全体の約3/4が崩落(高さ7.9m、奥行き約0.5m、玄武岩の推定崩落量32立方メートル)し、マンゲージごと岩塊の下敷きとなったもの。
29	2	10時台	土木工事業	30人以上 49人	巻き込まれ、はさまれ	建設用等機械	被災者は、河川工事現場の根継工の床掘作業において、深さ91cmの掘削場所でドラグショベルの運転者へ合図を行っていたところ、ドラグショベルの運転者が被災者の合図に従い作業装置を操作しバケットを押し出した際に、バケットに被災者が押しされ、背後のコンクリート壁とバケットの間に挟まれたもの。
29	2	16時台	土木工事業	10人以上 29人	交通事故(道路)	動力運搬機	被災者は、橋梁の補修工事において、約7.5km離れた別の橋梁の作業場所で使用していた架設通路の部材を同僚とともにトラックに積み込み、同僚が運転する同トラックの助手席に同乗し国道を走行中、緩い上り坂の直線道路においてスリップして対向車線にはみ出し、路外に逸脱して道路脇の支柱に激突したものの。
29	4	9時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	用具	個人住宅の屋根塗装工事においてはしごをかけて塗装していたところ、はしご脚部の固定部分が崩れたためバランスが崩れ、はしごと共に転落したものの。
29	4	8時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、木造2階建てマンションの新築工事現場において、足場(3.8m)の作業床で作業していたが、その後、地上でうつ伏せで倒れている所を発見され、入院加療中14日後に死亡したものの。
29	4	14時台	土木工事業	10人未満	倒壊、崩壊	環7 境1 等2	民家の立木を処理するため、松(高さ7.4メートル)をチェーンソーで切断作業をし、伐倒予定方向と反対側に退避したが、退避した側へ倒れたため被災した。
29	6	1時台	その他の建設業	50人以上 99人	倒壊、崩壊	一般動力機械	被災者は、触媒装置の交換工事において、反応器内に入り、廃触媒の搬出作業中、その廃触媒の塊が倒壊し、その下敷きになり被災したものの。

平成29年 建設業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
29	6	16時台	その他の建設業	50人以上99人	交通事故(道路)	乗り物 231	被災者は、業務を終え社有車を運転し帰社途中、警報器及び遮断機のない踏切を横断中、列車と衝突し被災したものの。
29	7	7時台	土木工事業	10人以上29人	巻き込まれ、	動力運搬機 221	被災者は、土砂を運搬するダンプトラックの運行経路上で、ダンプトラックに背を向けて立っていたところ、後退してきたダンプトラック(最大積載量11トン)の左後輪にひかれたもの。
29	7	13時台	土木工事業	10人未満	巻き込まれ、	建設用等機械 141	被災者は、工事現場内で、エンジンを掛けたままのブルドーザー(機体重量7トン)の運転席から降り、左クローラーに立ったところ、ブルドーザーが動き出し、その反動で地面に転落したため、そのブルドーザーに轢かれたもの。
29	7	9時台	その他の建設業	10人以上29人	交通事故(道路)	乗り物 231	被災者は、営業を終え帰社途中、片側二車線の直線道路で、対向車線にはみ出してしまい、ダンプカーと正面衝突したものの。
29	7	10時台	その他の建設業	10人未満	飛来、落下	仮設物、構築物、建築物等 415	被災者は、工場内で装置の修理工事中、工場の梁に堆積していた固形物が一部剥がれ16m落下し、被災者の頭部へ直撃し、入院加療中であったが死亡したものの。
29	8	10時台	土木工事業	10人未満	激突され	環境等 711	被災者は、砂防工事の準備工として、伐倒作業のためチェーンソーを用いて急斜面(約43度)で伐倒作業していたが、同僚に被災者が倒れている所を発見された。 倒れていた被災者のそばには、伐倒した樹高約19.6mの木とツルがらみした樹高約10.3mの木が根ごと抜けて倒れていた両方の木があった。
29	9	8時台	土木工事業	10人以上29人	おぼれ	仮設物、構築物、建築物等 418	被災者は、河川災害復旧工事において、土のう設置作業のため魚道(水深30cm)を歩行中、洗掘によりできた溝に転落し溺死したものの。

平成29年 建設業における死亡災害

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	9	11時台	土木工事業	50人以上 99人	交通事故 (道路)	動力運搬機 2 2 1	道路維持工事の一環として、台風対策のため不足した資材を取りに戻るため、トラックで暴風雨の中を運転中、道路を逸脱し案内標識に激突したものの。
29	9	9時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	建設用等機械 1 4 2	被災者は、斜面防護工事において、ミニドラグショベル運転して法肩を走行中、路肩を逸脱し、約5メートル下へ転落し、そのミニドラグショベルの下敷きになり被災したものの。
29	9	15時台	土木工事業	30人以上 49人	交通事故 (道路)	乗物 2 3 1	被災者は、社有車を運転して工事現場から帰社途中、信号機のない交差点に差し掛かったところ、一旦停止の標識を見落とした第二当事者の運転する車に側面衝突され被災したものの。
29	10	14時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	仮設物、構築物、建築物等 4 1 1	被災者は、RC造3階建集合住宅の屋上防水及び外壁塗装を行う改修工事のため、外部足場(枠組足場)の組み立て作業に従事していたところ、交差筋のない足場3段目から地上まで5.3m墜落したものの。
29	11	5時台	土木工事	10人以上 29人	交通事故 (道路)	乗り物 2 3 1	高速道路でパトロール車に2名が乗車し、インターチェンジから本線に合流する地点でUターンをしようとした際、本線を走行していた大型トレーラーと衝突し、助手席に乗っていた被災者が死亡、運転手は重傷、大型トレーラーの運転手は軽傷を負った。事故当時、路面は凍結していた。
29	11	11時台	建築工事業	10人未満	倒壊、崩壊	仮設物、構築物、建築物等 4 1 3	被災者は、同僚3名と建築物(建物木造、基礎鉄骨)の解体工事を行っていた。何らかの理由で既設の地下1階部のコンクリート製の階段(高さ2m、幅1.4m、厚さ25cm、重量約1.5t)の裏に入っていたとき、コンクリート製の階段が折れるように上部が倒壊し、その下敷きになり死亡したものの。
29	11	14時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	はしご等 3 7 1	被災者は、木造2階建て共同住宅の外部廊下で、脚立(上から1段目の踏み面、高さ50cm)に乗り、天井と壁の結合部にマスキングテープを貼っていたところ、北側の開口部に向かって墜落し、頸椎を損傷し、死亡したものの。

平成29年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	12	13時台	その他の建設業	10人未満	墜落、転落	仮設物、構築物等	被災者は、二階建て集合住宅の各戸の窓周りのコーキング除去作業において、当該事業場が設置した枠組み足場の2段目の躯体側に、地上から高さ約4mの位置にブラケットを使用し足場板(長さ4m)を設置し作業していたところ、足場板を固定していなかったため、ずれ、傾き、足場の外側に設置した手すり作業床の隙間から墜落し被災したものと

平成29年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	1	11時台	道路貨物運送事業	10人以上 29人	交通事故 (道路)	動力運搬機 2 2 1	被災者は、トレーラー(ダンプ形状:18トン車)の積み荷を下ろした後、国道を空荷で走行していた時、路面が凍結していたためスリップして対向車線(片側1車線)にはみ出し、対向車線を走行していたトレーラーと正面衝突したものの。
29	3	7時台	道路貨物運送事業	30人以上 49人	交通事故 (道路)	動力運搬機 2 2 1	被災者は、農家へ飼料を配送するため、トレーラーで道道を走行中、センターライン寄りに走行してきた対向車を避けようと左側に寄って減速したところ、シャーシ(荷台)が路外へ逸脱し、トレーラー全体が反転したことにより運転席がつぶれたもの。災害発生時、現場の路面は凍結し霧による視界不良の状況だった。
29	5	14時台	道路貨物運送事業	10人未満	墜落、転落	動力運搬機 2 2 1	被災者は、トラック(平ボディ)の荷台の上で鉄骨を積載作業を行った。その作業が終了したため、荷台から降りようとしたところ、バランスを崩し2m下の地面に転落し、更に荷台の鉄骨が落下し、その下敷きとなり被災した。
29	9	6時台	道路貨物運送事業	50人以上 99人	墜落、転落	動力運搬機 2 2 1	被災者は、大型ダンプトレーラーを運転し、荷主の構内へ到着した。同大型ダンプトレーラーを定位置に停車させるため、ドアを開けて身を乗り出した状態で後退させ停車させた際、同トラックから転落被災したものの。
29	10	12時台	道路貨物運送事業	10人以上 29人	巻き込まれ	建設用等機械 1 4 1	自社倉庫内において、大型トレーラーにバラ積みされた粕殻を下ろし、ホイール式トラクター・ショベルを使用して当該粕殻を倉庫奥に押し込む作業が行われていた。被災者は別の大型トレーラーの運転手であり、倉庫の外で順番待ちをしていたが、何らかの理由により倉庫内に歩いて進入したところ、後進してきたホイール式トラクター・ショベルの後輪に轢かれたもの。
29	10	8時台	道路貨物運送事業	10人以上 29人	激突され	建設用等機械 1 4 1	積込先農家の畑内において、他事業場の労働者が運転する専用バケットを装着したホイール式トラクター・ショベルでダンプトラックに甜菜を積み込む作業中、当該ショベルの前方にいた被災者が地面にこぼれ落ちた甜菜を拾おうとしたところ、バケットを下げながら前進してきた当該ショベルのバケットの下敷きとなったもの。

平成29年 林業における死亡災害

29	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環7 境1 等2	被災者は、自社の社有林の伐木作業中、昼休憩になっても被災者が戻らなかったことから同僚が搜索したところ、斜面横方向へ伐倒したシナノ木(樹高約20m、胸高径約40cm)の下敷きとなった状態で発見されたもの。
29	4	13時台	林業	10人未満	激突され	環7 境1 等2	民有林の伐木作業をしていた被災者が、作業終了時刻になっても戻らないため、同僚が搜索したところ、シナノ木(樹高約25m)の下敷きになっているところを発見された。
29	6	7時台	林業	10人未満	激突され	環7 境1 等2	被災者は、民有林の伐木作業に従事していた。離れた場所で集材作業を行っていた事業主が、被災者のチェーンソーの音が聞こえなくなったので、作業場所へ様子を見に行ったところ、伐倒した杉(樹高約26m、胸高直径27cm)の下敷きになっているところを発見した。
29	8	10時台	林業	10人以上29人	激突され	環7 境1 等2	被災者は、国有林の間伐作業に従事していた。カラ松(樹高約30m)を伐倒作業中、伐倒方向が狂ったため、白樺(樹高約20m)に当たり、跳ね返った伐倒木の元口が退避していた被災者に激突し、被災したものの。
29	10	10時台	林業	10人以上29人	倒壊、崩壊	環7 境1 等2	被災者を含む2名で立木の間伐作業のため現場に入場。被災時、被災者は単独でダケカンバ(広葉樹)の伐倒作業を行っていた。被災者がかかり木になっている木を伐倒するため、高さ約22メートル胸高直径約39センチメートルの木に受け口及び追い口を入れて倒した際、かかっていた木が外れ、伐根付近にいた被災者がその下敷きになっているところを発見された。

平成29年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	1	13時台	その他の事業	10人以上 29人	激突され	建設用等機械 1 4 1	被災者は、建設工事現場において、一般車両等の誘導員として現場に入場していたが、作業開始に伴う除排雪作業のため、トラクターショベルを運転操作していた労働者がトラクターショベルを後退させたところ、トラクターショベルの後方に倒れている被災者を発見したものの。
29	1	7時台	その他の事業	30人以上 49人	おぼれ	乗物 2 3 9	被災者は、大型貨物船の接岸に伴う綱取り作業船による係留作業において、大型貨物船から降ろされた係船ロープを作業船に取り付け、岸壁の係留設備まで運ぶため操船中、たるんで海中に沈んだ係船ロープが大型貨物船のスクリュウに巻き込まれたため、作業船が海中に引き込まれて転覆・沈没し、沈没した船の操舵室で発見されたもの。
29	2	10時台	清掃・と畜業	100人以上 299人	巻き込まれ、 はさまれ	建設用等機械 1 4 1	被災者は、ガソリンスタンドの敷地内において、寄せ集められた雪を4トントラックへ積み込む作業をしていたトラクターショベルに轢かれたもの。トラクターショベルを後退させた際にガタンという音がしたため、運転者が運転席から降りて確認したところ、仰向けで地面に倒れているところを発見された。
29	2	14時台	畜産業	10人未満	墜落・転落	仮設物、構築物等 4 1 5	被災者は、養豚場の豚舎(3階建て、軒高6.7m)の屋根に上ってスコップ等で雪庇を落とし作業を行っていたところ、地上で落ちた雪庇をかき集めていた他の労働者が、背後でドサツという音がしたため確認したところ、倒れている被災者を発見したものの。
29	3	7時台	社会福祉施設	50人以上 99人	交通事故(道路)	乗物 2 3 1	被災者は、同僚の運転する自家用車に他の同僚とともに乗車し、勤務先に向けて国道を走行中、反対車線にはみ出し、前から来た乗用車に衝突したものの。当時、路面は凍結し雪が積もっていた。
29	3	13時台	小売業	10人未満	墜落・転落	仮設物、構築物等 4 1 5	被災者は、倉庫に出来た雪庇を落とす作業中、一人で屋根に登り、屋根から飛び出た雪庇を切り落とした後、屋根の角付近から約6.5m墜落したものの。
29	3	14時台	商業	10人未満	巻き込まれ、 はさまれ	一般動力機械 1 6 9	被災者は、作業台の上で牧草ロールを崩して傍のベルトコンベヤーに落とす作業に従事していたが、コンベヤーの先にあるブロック状に成形する機械が停止し、当該機械に頭部が挟まれているのを発見された。

平成29年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	4	17時台	土石採取業	10人未満	墜落、転落	仮設物、建築物、構築物等 ⁴ ₁ ³	被災者は、砂利プラント構内の排水処理施設建屋内で昇降階段上でうつぶせの状態で見失っているところを発見された。発見時、受水タンクから水があふれていた。
29	4	11時台	飲食業	30人以上49人	墜落、転落	動力運搬機 ² ₂ ¹	被災者は、トラック(積載荷重3.65トン)に荷台の上で、廃棄物を下ろす作業中、約1メートル下の地上へ転落した。頸椎損傷により入院加療中であったが、事故から22日後に死亡した。
29	5	10時台	ビルメンテナンスマン	100人以上299人未満	墜落、転落	用具 ³ ₇ ¹	被災者は、天井裏にある空気調和装置の調整をするため、脚立の天板から2段目の位置(約1.2メートル)に立ち、天井の点検口に頭部を入れた状態で作業中、バランスを崩し、仰向けに墜落し、頭部を強打して死亡した。
29	5	13時台	畜産業	10人以上29人	巻き込まれ、	建設用等機械 ¹ ₄ ²	ホイール式トラクター・ショベル(以下「ショベル」という)を使用したハッチ(子牛を飼育する木製の小屋)の移動作業において、ショベルのバケットを上げ、ハッチをバケットから吊り下げた状態で走行していたところ、タイヤが何かにかかり上げた感触があり、運転者はショベルを停めて、運転席から降ショベルの左側を見ると被災者が倒れているのを見つけた。
29	6	8時台	倉庫業	30人以上49人	墜落、転落	動力運搬機 ² ₂ ²	トレーナーに積んであるコンテナをフォークリフトを用いて荷下ろし作業中、フォークリフトが作業台(幅2.6m、長さ9.2m、高さ1.2m)を後退中、作業台からフォークリフトが転落し、その下敷きとなり被災した。
29	6	15時台	その他の事業	10人未満	巻き込まれ、	乗り物 ² ₃ ¹	被災者は、スクールバスのエンジンを始動させ暖機運転をしたまま、降車したところ無人のバスが動き出し、それを止めようとし、同バスに轢かれ被災した。
29	6	9時台	社会福祉施設	10人以上29人	墜落、転落	用具 ³ ₇ ¹	被災者は、洗濯物を干すため、脚立の2段目(46.5cm)で作業していたが、体の向きを変えたところ、脚立から転落し臀部を強打した。帰宅後容体が急変し、S状結腸穿孔と診断され手術したが死亡した。(被災者は、スリッパの底が半円型のバランスの悪い特殊なスリッパを履いていたこと。)

平成29年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	6	17時台	農業	50人以上99人	巻き込まれ、はさまれ	一般動力機械 169	被災者は、乗車型草刈り機に乗り、さくらんぼ農園の除草作業を行っていた。帰宅時間になっても帰らないため、捜索したところ、横に伸びた太い枝(地上から約1m)と乗車型草刈り機とに胸部を挟まれた状態で発見されたもの。

平成29年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	6	12時台	倉庫業	30人以上 49人	転倒	仮設物、建築物等 416	被災者は、冷凍庫内で荷のピッキング作業していたが、冷凍庫内で倒れている所を同僚に発見され、入院加療中であったが、頭部等骨折及び外傷による硬膜外血腫により死亡したものの。
29	7	15時台	農業	30人以上 49人	巻き込まれ、 はさまれ	一般動力機械 169	被災者は、高さ約1.3メートルの車両点検台に乗用草刈り機を乗せて、刈刃等の清掃作業後、座席に座ってエンジンを掛け前進させたところ、座席と点検台に設置されている単管手すりとの間にはさまり被災したものの。
29	9	5時台	水産業	10人未満	(その他) 交通事故	その他の乗物 239	被災者は、根室市落石沖合にて、タコかご漁のため乗船していたが、サンマ棒受け漁船と衝突したため、海中転落し行方不明になり平成29年12月死亡扱いとなった者。
29	10	6時台	その他の事業	50人以上 99人	おぼれ	その他の装置等 391	地元の漁業協同漁組合から台風21号によるサケ定置網の被害状況の調査を依頼され、漁港沖約1kmの地点にあるサケ定置網の内部ヘスキューバ方式により潜水していた。潜水して約20分後に網を引き上げたところ、浮上する横網の下に被災者の姿があった。被災者に意識はなく、身に着けていたボンベや重りは外された状態であった。
29	11	7時台	水産業	10人以上 29人	飛来、落下	用具 379	被災者は、乗り込んでいる船の後部甲板において、同船の向きが変わるのを待っていた。このとき、投げカギが飛来し、被災者の胸部に当たった。投げカギのカギ部分は、海中の網を支えるロープに引っ掛けられて、また、投げカギにつながるロープは同船のドラムで巻き取られていた。
29	11	14時台	鉄道・軌道業・水	30人以上 49人	おぼれ	仮設物、建築物等 418	港の外防波堤先まで調査者を小型船舶で送迎する業務において、外防波堤の船着場で下船させ、被災者はその場に留まった。下船から約20分後、調査を終えて船着場に戻ったところ、船着場付近で上半身を海面に出して意識がない状態で浮かんでいる被災者(ライフジャケット着用)を発見したものの。なお、小型船舶は係留状態。
29	11	6時台	水産業	10人未満	おぼれ	乗り物 239	ホタテの養殖のため、早朝、漁船(7.9トン)に代表者ら3人が乗り込み、漁港を出港し、約1.5km沖の養殖場所に到達したとき、被災者がいないことに気づいた。同漁港の近くで浮遊する遺体が発見された。

平成29年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	11	12時台	砂利採取業	10人以上 29人	倒壊、崩壊	仮設物、建築物、構築物等 ⁴¹⁸	コンクリート用骨材の砂プラント内において、構内下請業者の労働者1名が、高さ約3.6mの砂ホッパー内の砂が凍結していたため、ホッパー下部の砂排出口に上半身を入れて電動ピックを用いて凍結した砂を崩していたところ、崩れ落ちた砂によりホッパー内で埋まり、被災したもの。
29	12	18時台	商業	10人未満	飛来、落下	荷姿の物 ⁶¹¹	被災者は、客先でフォークリフトの修理及び点検のため左後輪にグリスアップを行っていたところ、被災者の後方に2段積みされた荷(1.2m×0.8m×1.4m重量約1t)の上段の1個が崩れて落下し、被災者を直撃したもの
29	12	3時台	商業	10人以上 29人	交通事故(道路)	動力運搬機 ²²¹	自分の担当区域の新聞をリヤカーに入れ、担当区域へ向かうため、車道左脇を移動中、後方から走行してきた2トントラックにはねられ被災したもの
29	12	13時台	道路旅客運送業	30人以上 49人	巻き込まれ、はさまれ	乗物 ²³¹	被災者はバスの整備を始め、バス車両後方のみを油圧ジャッキにより持ち上げ、エンジン付近の不具合箇所をエンジンをかけたまま確認していたところ、不具合箇所付近で回転していたプロペラシャフトに巻き込まれ被災したもの
29	12	14時台	畜産業	10人未満	激突され	その他の環境 ⁷¹⁹	被災者は、牛舎の清掃を行うため、牛の追い出しを行っていたところ、牛と柵との間にはさまれて被災したもの。
29	12	9時台	商業	10人未満	交通事故(道路)	動力運搬機 ²²¹	被災者は、市道の脇に出された古紙を回収する作業中、徐行運転している古紙回収車(ごみ収集車)の左後輪に轢かれたもの
29	12	10時台	その他の事業	50人以上 99人	墜落、転落	建設用等機械 ¹⁴¹	被災者は、ホイール式トラクター・ショベルのバケットに乗り、倉庫の外壁を貼付け作業をしていたが、同機械が後退したことによりバランスを崩し転落したがそれに気づかず、前進したことにより、同機械に轢かれ被災したもの

平成29年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
29	12	9時台	水産業	10人未満	その他	その他の動力機械 ¹⁶⁹	被災者は、ヘルメット式潜水器を装着し、ウニ漁に従事していたが、漁船が故障したため座礁し、海面に浮上し船に移ろうとしたが、激しい波の影響ではしごが折れ、かつ、エンジン停止により送気が停止したことにより、窒息死したものの
29	12	9時台	水産業	10人未満	(その他) 交通事故	その他の乗物 ²³⁹	被災者は、ウニ漁に従事していたが、漁船の機関が故障したため座礁し、潜水士を救助しようとした際に、高波により海中転落し、近くの島に流れ着いたが、再び流され、低体温症により死亡したものの

死亡労働災害の概要(前月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型 (その他)	起因物	災害の状況
29	9	5時台	水産業	10人未満	交通事故 (その他)	その他の乗物 239	被災者は、根室市落石沖合にて、タコかご漁のため乗船していたが、サンマ棒受け漁船と衝突したため、海中転落し行方不明になり平成29年12月死亡扱いとなった者。
29	11	14時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	はしこ等 371	被災者は、木造2階建て共同住宅の外部廊下で、脚立(上から1段目の踏み面、高さ50cm)に乗り、天井と壁の結合部にマスキングテープを貼っていたところ、北側の開口部に向かって墜落し、頸椎を損傷し、死亡したものの。

平成29年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局(平成29年確定)

	発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	災害の状況
1	29	1	12時台	道路貨物運送業	30人以上 50人未満	被災者は、トレーラーを運転して車両の運送を行っていた。トレーラーのマフラーに穴が開いていたため運転席に流入してきた排気ガスにより被災した。 (一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日未満)
2	29	1	14時台	飲食店	10人未満	炭火焼きハンバーグ専門店において、来客が途絶えたので炭を起こしていた釜の換気を弱めたところ、ホール係員が被災した。 (一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日未満)
3	29	2	9時台	鉄鋼業	10人以上 30人未満	被災者は、真空脱ガス炉(真空の槽内に入れられた溶鋼から不純物を除去する設備)より排出されるガス中から集められた不純物の無害化処理作業中、薬剤の誤混入により硫化水素が発生し被災した。 (硫化水素中毒・被災者1人・死亡)
4	29	3	9時台	食料品製造業	100人以上	冷蔵庫内の霜取り作業において、アンモニアの分配器のバルブに圧力計を取り付ける作業中に圧力計が外れ、バルブが開放状態であったことから冷媒のアンモニアが漏洩し、その際に気化したアンモニアを吸引し被災した。 (化学物質性気管支炎・被災者1人・休業4日未満)
5	29	4	10時台	その他の製造業	10人以上 30人未満	被災者等は整備工場内において、暖房用に使用していた廃油ストーブの煙筒の継ぎ目の一部が外れていたため、工場内に煙と臭いが充満し、作業中の労働者7人が被災した。 被災者7人の内、1人が1週間程度、他の6人は当日又は数日の入院となった。 (一酸化炭素中毒・被災者7人・休業4日以上2人・休業4日未満5人)
6	29	7	15時台	その他の事業	30人以上 50人未満	被災者はタンクの洗浄が不十分であったので、自動洗浄機により再洗浄しようとした。 洗剤容器を自動洗浄機から外し、間違ってもアルカリ性の別の洗剤を追加したところ、塩素ガスが発生し被災した。 (塩素ガス中毒・被災者1人・休業4日未満)
7	29	9	15時台	教育・研究業	30人以上 50人未満	学校給食調理場において食器を食器洗浄機で作業中、この洗浄機の加熱用バーナーに接続されたゴム製ガスホースの亀裂部分からプロパンガスが漏洩し、亀裂部付近で引火、直ちにガス管の元バルブを閉止し鎮火したが、作業していた2人がプロパンガスにより被災した。 (プロパンガス中毒・被災者2人・休業4日以上)

平成29年 有害物質による急性中毒等発生状況

発生年	発生日	時刻	業種	規模	災害の状況
8	29	9	11時台	建築工事業 10人以上 30人未満	<p>外壁の石綿含有塗料の除去作業現場において、養生されている玄関前の底下でエンジン式発電機2台を稼働させ、養生した足場内に排気していたところ、足場内で石綿除去作業を行っていた2人が被災した。(内1人は一人親方)</p> <p style="text-align: center;">(一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日未満)</p>
9	29	10	11時台	その他の建設業 10人未満	<p>当日午前中にマンション地下室にある受水槽の鉄骨架台の錆取り作業を行った後、換気のため昼休みの間、地下室に持ち込んだ発電機1台を使用し送風機を稼働した。</p> <p>昼休み終了後、発電機を止めて作業員2人が地下室に入り清掃作業を開始したところ、2人とも被災した。(内1人は一人親方)</p> <p style="text-align: center;">(一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日以上)</p>
10	29	10	4時台	鉄鋼業 100人以上	<p>製鉄工場の高炉出鉄口付近にて、労働者2人で出鉄口耐火材貼り付け作業を行っていたところ、高炉ガス(一酸化炭素を約30パーセント程度含有)が高炉より漏えいし、作業を行っていた労働者1人が被災した。</p> <p style="text-align: center;">(一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日未満)</p>
11	29	12	10時台	土木工事業 10人未満	<p>潜水土に空気を圧送するための発電機から排気された一酸化炭素が、空気の取入口(ストレーナー)から混入して圧送されたことにより、作業を行っていた潜水土が被災した。</p> <p style="text-align: center;">(一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日未満)</p>
12	29	12	13時台	小売業 10人以上 30人未満	<p>パン製造販売店舗内において、薪釜でパンを焼成していたところ、換気が不十分であったため、2名が一酸化炭素中毒になった。(1名休業2日、1名不休)</p> <p style="text-align: center;">(一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日未満)</p>
合計	発生件数		12件	内訳	<p>一酸化炭素中毒 8件14人 プロパンガス中毒 1件2人</p> <p>硫化水素中毒 1件1人 塩素中毒 1件1人</p> <p>化学物質性気管支炎 1件1人</p>
	被災者数		19人	内訳	死亡~1人、休業4日以上~5人、休業4日未満~13人